

2025 年度

国府台女子学院 中学部

推薦入試基礎学力調査

国 語 (40 分)

**【注 意】**

1. この問題は、「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
2. 問題を読むときに、声を出してはいけません。
3. 印刷が不鮮明ふせんめいでわからない場合や、その他わからないことがあった場合には、  
だまって手をあげ、先生にたずねてください。
4. 答えは、すべて別紙解答用紙に記入してください。



問八 「難問」と熟語の構成が全く同じものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 清流      イ 因果      ウ 永久  
エ 帰郷      オ 延々

問九 次の空欄に入る言葉として最も適当なものをあとのア～カから一つ選び、記号で答えなさい。

【      】 自分が体験したかのように話す。

- ア あたかも      イ あながち      ウ いささか  
エ おもむろに      オ つくづく      カ とりわけ

問十 矢印の方向に読んで熟語になるように、空欄に入る漢字一字を答えなさい。

真 ↓ □ ↓ 色  
破 →      → 面

問十一 「あくせく」という言葉を使って二十字以上三十字以内で短文を作りなさい。話を通じれば主語がなくてもかまいません。

問十二 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

※著作権処理中です

※著作権処理中です

(好井裕明『他者を感じる社会学』ちくまプリマー新書)

1 〓線部 a ~ d を漢字に直しなさい。

2 本文中の四角棒<sup>わく</sup>の評論家の発言に対して筆者はなぜ驚いたのか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 自分は差別をしたことがないと信じて差別を外側から傍観<sup>ぼうかん</sup>し、被差別当事者に興味本位で質問しているから。

イ 差別に関わらない自分は「普通」で、関わる人は「特別」だとする見方が、無意識に相手を差別していることに気がついていないから。

ウ 自分が差別をしたことがある可能性を疑わず、関係のない他人事として被差別当事者の痛みを理解しようとしていないから。

エ 自分は差別に関わったことがないと決めつけ、差別に関わることは「特別」だと自分の日常から切り離して考えているから。

3 空欄 I ~ V には「普通」か「特別」のどちらかの語が入る。空欄に当てはまる語を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 普通      イ 特別

4 空欄 A・B に入る語として最も適当なものを次のア~カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 相対的      イ 基本的      ウ 合理的  
エ 主観的      オ 客観的      カ 支配的

5 〓線部①「『普通』の人間であれば、差別しないし、くまたく根拠のない幻想です。」とあるが、日常でみられる無自覚な差別行為（マイクロアグレッション）の例として当てはまらないものを次のア~エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 仕事で昇進<sup>しょうしん</sup>した女性の知人に、「女性なのに出世してすごいね。」と言った。

イ 部活の大会で自己ベストを出した友人に、「努力が報われてよかったね。」と言った。

ウ パソコンが得意なおじいさんに、「ご高齢<sup>こうれい</sup>なのにすっかりされていきますね。」と言った。

エ LGBTの友人に、「男女どちらの気持ちもわかっていいね。」と言った。

6 空欄 C に入る言葉として最も適当なものを次のア~エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「私にできることはないだろうか」

イ 「差別をなくすなんて理想論だ」

ウ 「できることなら関わりたくない世界だ」

エ 「差別とは意外と身近に存在するものだ」

7 〓線部②は「自分にはまったく関係のない出来事」という意味の慣用句である。その慣用句になるように、空欄 D に入る語を漢字二字で答えなさい。

8 —線部③「ペンディング」の意味として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

実を見つめることである。

ア 保留    イ 樹立    ウ 受容    エ 批判

9 空欄Eに入る語として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア しがらみ    イ つながり  
ウ ひらめき    エ まなざし

10 本文の内容として適当なものには1、まちがっているものには2とそれぞれ答えなさい。

① 満員電車で足を踏まれている側が「痛い！」と主張して初めて気づかれるのと同じように、差別を受けている側が声をあげることではか気づかせられない。

② 〳硬直した〴〵二分法的見方とは、差別をする側と受ける側が逆転する可能性を考えていない、差別を日常生活世界から切り離す見方である。

③ 差別とは、差別に関わりがあるかないかに関わらず、誰にとつても普段の日常生活の中で起こる「事件」であり、「普通」の世界の中の「特別」であるといえる。

④ 我々は差別を受けた人に同情したり、差別をした人を批判しつつも、自分には関わりのない話であると無意識に考えてしまいがちである。

⑤ 差別を考えるうえで大切なことは、〳硬直した〴〵二分法的見方にとられず、差別をする側と受ける側の両方の立場に立って、冷静に事

